

第三一六回俳都松山俳句ポスト

第三一六回開函

「渋柿」松山渋柿会長

戒能 多喜 選

特選三句

澄む秋や新たな湯屋にひびく音

愛媛県松山市 辻原 雅子

冬の日をゆつたり返す伊予の海

東京都稲城市 萩原 一志

頂に城をかかげて山眠る

京都府宇治市 岡崎 敦子

入選二十句

(市外)

ばあちゃんのこたつの上に愛媛あり

神奈川県川崎市 冷水 まなみ

マドンナのゐさうな城下秋日和

滋賀県守山市 宮崎 敬子

天守閣永遠に見下ろす瀬戸の秋

東京都町田市 増田 民夫

色変へぬ松を残せる松山駅

愛媛県新居浜市 永易 知子

豆腐屋のラッパ過ぎをり萩の花

福岡県福岡市 田島 弥生

上弦の月掬ひたり露天の湯

京都府京都市 竹岡 陽子

子規堂の格子古色や秋高し

石川県珠洲市 酒谷 貞子

停泊のフェリーへ冬日広がりぬ

大阪府吹田市 小濱 准子

秋祭り湯之町に今灯がともる

東京都昭島市 河原 要

秋雨やからくり時計旅刻む

東京都江東区 奥山 佳代

人波が渦巻く道後秋まつり

広島県安芸郡府中町 今井 洋子

おむすびの子らの笑顔や今年米

愛媛県四国中央市 井下 敏

五千歩は遠くて近し冬田道

愛媛県新居浜市 青山 京子

(市内)

ささくれの指に残りし蜜柑の香

愛媛県松山市 村上 登喜子

バリバリと塩焼きのえび瀬戸の秋

愛媛県松山市 松田 トヨ

仁喜多津のいろは楓の染まりゆく

愛媛県松山市 古川 裕昭

古の雫のように式部の実

愛媛県松山市 岩瀬 啓子

バンクシーの風船飛ぶよ秋の空

愛媛県松山市 相原 典子

(十五歳以下)

ながれ星かなえてほしいぼくのゆめ

愛媛県松山市 渡部 優太

文化祭フルート横目にきなこもち

愛媛県松山市 村上 朔一

伊予灘ものがたり賞

手を振られまた振り返す伊予路秋

兵庫県三田市 土田 真由美

投句総数 二、一七三句

市外 一、六三五句

市内 五三八句

投句者総数 一、三〇八人

市外 一、〇七四人

市内 二三四人

開函日

令和六年十一月三十日